

# 7. 土壌汚染とリスクコミュニケーション

土壌汚染が自分の敷地内で、または近所で見つかったら不安になるでしょう。

しかし、これまで見てきたように土壌汚染の環境リスクについて正しく理解すれば、どのように対処すればよいか冷静に考えることができます。

土壌汚染に対して行政、事業者、市民にできることはたくさんあります。そして、それぞれでできることを行って、話し合うことが大切です。また、科学的なことや技術的なことなどはそれぞれの専門家をふくめて話し合しましょう。



## ● 行政の役割

- ・ 土壌汚染対策法を的確に実施する。
- ・ 土壌汚染に関する情報が公正かつ的確に開示されるよう事業者や土地の所有者を指導する。
- ・ 地域住民に対して、土壌汚染の環境リスクについて正しい理解を深めるための啓発活動などを行う。
- ・ 事業者に対して、土壌汚染の調査・対策のための支援などを行う。

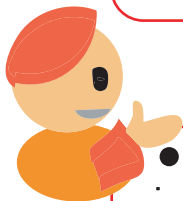
etc.



## ● 事業者の役割

- ・ 土壌汚染対策法等の関連法令をまもって土壌汚染を引き起こさないように努めるとともに、自主的、積極的に調査や措置を行う。
- ・ 土壌汚染がわかった場合には、すみやかに行政へ報告するとともに対応策を検討し、地域住民にそれを説明する。
- ・ 平素から地域住民との対話に努め、有害物質の取り扱い状況などの情報をできるだけ開示する。

etc.



## ● 市民の役割

- ・ 土壌汚染とその環境リスクについて、正しく理解する。
- ・ 発見された土壌汚染について事業者が開催する説明会などがあれば積極的に参加する。
- ・ 土地を買うときは、汚染の可能性がある土地かどうか、指定区域になっていないかなど調べる。

etc.

